

社会保育学科

第1回 平成30年7月21日(土)

担当教員	准教授 柳原 高文
テーマ	森のようちえんとは
概要	「森のようちえん」の成り立ちは、1950年代中頃デンマークで、「子どもたちに幼い頃から自然と触れ合う機会をあたえ、自然の中でのびのびと遊ばせたい」という願いを持つ一人の母親が、自分の子どもたちを連れて毎日森に出かけていったことがきっかけで始まったとされています。北海道ではダイナミックに森で活動している事例がたくさんあります。この模擬授業で、「森のようちえん」の事例やその教育的効果を考えてみたいと思います。

第2回 平成30年8月18日(土)

担当教員	教授 三国 和子
テーマ	他者とつながる音楽活動
概要	保育の中では、以前から音楽が多用されてきました。それはなぜか、現状では明確な説明がなされていません。しかし一方で、動物としてはたいへんひ弱である人間がここまで繁栄してきた要因として、音楽の力を挙げる学者も現れています。音やリズムを共有することで生まれる他者との共感が、言わば人間に生きる力を与えるということです。それが保育とどうつながるのか、音楽活動を通して他者とつながることを体感し、探ってみたいと思います。

第3回 平成30年10月13日(土)

担当教員	講師 小尾 晴美
テーマ	「働く」という視点から子育てについて考える ～24時間週7日経済における仕事と子育て～
概要	子育てを中心に担うのは家族、特に母親という考えが、従来常識として人びとに認識されてきました。ところが、共働き世帯が60%を超えるなど、家族のあり方はここ数年で激変しています。そのため、特に女性が働きながら子育てをする環境整備が日本社会の大きな課題となっています。 この授業では、子育てを担う家族や保育者の現状と、それぞれの役割について「働く」という視点から解説します。子どもがのびのびと育ち、子育てに関わる沢山の人が、生き生きしながら子育てに関われる環境をどうやって作るのか、一緒に考えましょう。